

| 留学費用 | | | |
|-------------|---------------|----------|---|
| 留学費用項目 | 現地通貨 (ウォン) | 日本円 | 備考 |
| 授業料 | 0 | 0円 | 交換留学のため |
| 宿舍費 | 1300000 | 130000円 | |
| 食費 | 1300000 | 130000円 | |
| 図書費 | 100000 | 10000円 | |
| 学用品費 | 0 | 0円 | |
| 携帯・インターネット費 | 200000 | 20000円 | |
| 現地交通費 | 0 | 0円 | (<input checked="" type="checkbox"/> 大学まで徒歩・自転車) |
| 教養娯楽費 | 50000 | 5000円 | |
| 被服費 | 600000 | 60000円 | |
| 医療費 | 0 | 0円 | |
| 保険費 | 800000 | 80000円 | 形態: 明治大学指定のもの |
| 渡航旅費 | 570000 | 57000円 | |
| ビザ申請費 | 0 | 0円 | |
| 雑費 | 300000 | 30000円 | |
| その他 | | 円 | |
| その他 | | 円 | |
| 合計 | 5220000 | 522,000円 | |

| 渡航関連 | |
|---|--|
| 渡航経路 | |
| 往路 出発地: 成田 目的地: 仁川 経由地: | |
| 復路 出発地: 仁川 目的地: 成田 経由地: | |
| 渡航費用 | |
| ① 往復チケットを購入した場合 航空会社: 料金: | |
| ② 片道ずつチケットを購入した場合 往路 航空会社: 済州航空 料金: 3万2千円 復路 航空会社: JIP AIR 料金: 2万5千円 ∴合計: 5万7千円 | |
| 航空券購入方法 | |
| <input type="checkbox"/> 旅行代理店(店名:) | |
| <input checked="" type="checkbox"/> インターネット(サイト名: 各社公式 HP) | |
| <input type="checkbox"/> その他() | |

滞在形態関連

1)種類(留学中の滞在先)(例:アパート、大学の宿舍など)

学生寮(寮の名前:IHOUSE) アパート ホームステイ

2)部屋の形態

個室 相部屋(同居人数 2 人)

3)共有部分

バス トイレ キッチン(自炊可 自炊不可)

4)住居を探した方法:

留学先大学からの斡旋

5)感想:(滞在先の感想とこれから留学する人のためのアドバイス)

留学生と関われる機会は他にも多くあるため、無理に 2 人部屋を選択する必要はないと感じた。特に梨花女子大学の寮は個室が無く、ルームメイトと長時間時間を共有しなければならない。私の場合、ルームメイトは年上で心優しい方だったため特に不便はなかったが、友達の中には相性が合わず悩んでいる子もいた為、1 人の時間を大切にしたい方には 2 人部屋はおススメ出来ない。

現地情報

1)留学期間中、病気やケガをしましたか。した場合、どこで治療を受けましたか。(例:現地の病院、学内の診療所)

なし
あり(治療を受けた場所:学校の保健室)2)留学期間中、学内外で問題はありましたか。あった場合、誰に相談しましたか。
(例:留学先大学の相談窓口、現地の友人等)なし
あり(問題の内容や相談した人等:)

3)現地の危険地域情報をどのように収集し、どのような防犯対策をしましたか。また、実際に盗難等を含む犯罪に巻き込まれたことはありますか?その際どのように対処しましたか?

大使館から送られてくる情報

4)携帯電話や、インターネットについて、現地での利用・接続はいかがでしたか。

(例:寮のインターネット接続が不安定で1週間に1度は全く繋がらない時がある。街にあるほとんどのカフェでは WIFI 接続が可能であったので、寮で使用できない時はカフェに行った。)

寮の WIFI がつながりにくいことがあったが日常生活に支障をきたすレベルではなかった。

5)現地での資金調達はどのように行いましたか?(例:現地に銀行口座を開設して日本の親から送金してもらった。銀行口座は現地で外国人登録をしないと開設できない。また、クレジットカードも併用していた。)

日本から海外でもお金を引き出せるキャッシュカードを持っていき、引き落としていた。

6)現地では調達できない日本から持っていきべき物があれば教えて下さい。

特になし

7)【授業料負担型の方】授業料の支払方法、支払時期等について教えてください。(例:渡航前に自分で指定したクレジットカードで支払った、現地で開設した銀行のチェックで支払った。)

| 学習・研究活動についてのレポート(履修した科目ごとに記入) | |
|--|--|
| 1)留学先で取得した単位数合計 | 本学で認定された単位数合計 ※該当項目にチェックのうえ、記入して下さい。 |
| 12 単位 | <input checked="" type="checkbox"/> 単位申請中単位 <input type="checkbox"/> 単位認定の申請はしません(理由:) |
| 2)履修登録の時期・方法及び履修制限 | |
| <input type="checkbox"/> 出発前 <input checked="" type="checkbox"/> 出発後 <input type="checkbox"/> 派遣先大学の事務室 <input checked="" type="checkbox"/> オンライン <input type="checkbox"/> メール <input type="checkbox"/> その他() <input type="checkbox"/> 履修の制限があった: | |
| 3)以下は留学先で履修した科目についてのレポートです。今後留学をする人たちへのアドバイスも含めてお書き下さい。記入スペースが足りない場合は、A4 用紙で別途作成し、添付してください。 | |
| 履修した授業科目名(留学先大学言語): | 履修した授業科目名(日本語): |
| 영화 속의 역사 | 映画の中の歴史 |
| 科目設置学部・研究科 | 史学科 |
| 履修期間 | 春学期 |
| 単位数 | 3 |
| 本学での単位認定状況 | 単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい) |
| 授業形態 | 対面形式(チュートリアル、講義形式等) |
| 授業時間数 | 1週間に 75 分が2回 |
| 担当教授 | BAIK DAHAE |
| 授業内容 | 韓国の歴史について、映画を題材にしながら考える |
| 試験・課題など | 中間試験・期末試験に加えて映画の感想を各課題やレポートが 2 つほどあった。 |
| 感想を自由記入 | 難しい内容のものもあるが、映画を題材にして授業が行われるため、予習してから授業に参加することである程度はカバーできると思う。教授も留学生を気遣ってくれるいい方だった。 |

| | | | |
|---------------------|--|-----------------|--|
| 履修した授業科目名(留学先大学言語): | | 履修した授業科目名(日本語): | |
| 생활한국어 301 | | 生活韓国語 301 | |
| 科目設置学部・研究科 | なし | | |
| 履修期間 | 春学期 | | |
| 単位数 | 3 | | |
| 本学での単位認定状況 | 単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい) | | |
| 授業形態 | 対面形式(チュートリアル、講義形式等) | | |
| 授業時間数 | 1週間に150分が2回 | | |
| 担当教授 | KIM MI YOUNG | | |
| 授業内容 | 韓国語の話す・聞くの部分に重点を置いて行われる授業。最初にレベル分けのテストがあり、先生と相談することでどの授業を選択するか決定することが出来た。 | | |
| 試験・課題など | 中間試験と期末試験に加えて週に一回小テストがあった。 | | |
| 感想を自由記入 | 留学生が取れる韓国語の授業の中でも、実践的な会話や語彙を身に着けることが出来る授業であった。クラスの仲はクラスによって違うものの、留学生同士の交流もあり、人間関係を広めるためにも受講することをおススメしたい。 | | |

| | | | |
|----------------------------|--|-----------------|--|
| 履修した授業科目名(留学先大学言語): | | 履修した授業科目名(日本語): | |
| Introduction to Counseling | | カウンセリング入門 | |
| 科目設置学部・研究科 | 教育学部 | | |
| 履修期間 | 春学期 | | |
| 単位数 | 3 | | |
| 本学での単位認定状況 | 単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい) | | |
| 授業形態 | オンライン(チュートリアル、講義形式等) | | |
| 授業時間数 | 1週間に75分が1回 | | |
| 担当教授 | INSOO OH | | |
| 授業内容 | カウンセリングや心理学の基本について学ぶ | | |
| 試験・課題など | 中間試験・期末試験(資料持ち込み可)の実施に加え、毎週授業の内容を理解しているかの小テストがあった。 | | |
| 感想を自由記入 | 内容も興味深く、オンラインの授業だったため、自分のペースで学習することが出来た。英語で開講される授業のため、小テストや試験に不安があったが、日頃の授業をしっかり受けていれば問題なく単位を取得することが出来た。 | | |

| | |
|------------------------------|---|
| 履修した授業科目名(留学先大学言語): | 履修した授業科目名(日本語): |
| Korea from Antiquity to 1900 | 古代から 1900 年代の韓国史 |
| 科目設置学部・研究科 | 史学科 |
| 履修期間 | 春学期 |
| 単位数 | 3 |
| 本学での単位認定状況 | 単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい) |
| 授業形態 | 対面形式(チュートリアル、講義形式等) |
| 授業時間数 | 1週間に75分が2回 |
| 担当教授 | SANG-HO RO |
| 授業内容 | 韓国史についての講義を聞き、テーマに沿ってディスカッションする。ディスカッションで出た意見について自国の資料を参考に個々で研究し、最終的にグループでプレゼンを行った。 |
| 試験・課題など | 中間・期末でレポートの提出が求められた。 |
| 感想を自由記入 | 韓国史について英語を用いて説明されるため、授業前後で予習・復習が必要だった。慣れるまではディスカッションについていくのがやっとだったが、後半は自分の意見をプレゼンに反映させたりと成長を実感できる授業だった。加えて、気さくな先生だったので、レポートのテーマや内容について親身にアドバイスをしてくださったことが大きな助けになった。 |

卒業後の進路について

| |
|--|
| 1) 進路 ※3年生以下の方は今後の予定を記載してください(下記 2 以降は記入不要) |
| <input checked="" type="checkbox"/> 就職 <input type="checkbox"/> 進学 <input type="checkbox"/> 未定 <input type="checkbox"/> その他: |
| 2)進路決定の際に活用したウェブサイト、書籍、機関など |
| |
| 3)就職を選択した方は、差し支えなければ内定先を教えてください。また、その企業を選んだ理由も教えてください。(内定を得た企業すべての名前、あるいは入社すると決定した企業の名前のみでも構いません) ※就職活動をこれから始める場合は、差し支えなければ現時点で希望する業界、職種等を教えてください。 |
| |
| 4)就職活動中・終了に関わらず、就職活動について感想・アドバイスをお願いします。 (例: 留学中の就職活動へ向けた準備、帰国後に就職活動を始めるにあたり注意すること等。就職活動を不安に思い、留学を断念する方もいます。ご自身の経験を踏まえてアドバイスをお願いします。) ※就職活動をこれから始める場合は、留学経験を通して就職活動に対する意識や希望する就職先の変化等を教えてください。 |
| |
| 5)進学を選択した方は、差し支えなければ進学先を教えてください。 |
| |
| 6)進学を志す留学希望者に向けたアドバイス(準備、試験対策等)をお願いします。 |
| |
| 7) その他を選択した方は、その進路を選択した理由と、留学希望者に向けたアドバイスをお願いします。 |
| |

留学に関するタイムチャート

留学するまでの準備、試験勉強、留学中、留学後、特に留学に関連して発生した事項を記入してください。
(例: 語学試験の勉強、選考、出願、ビザ申請・取得、航空券購入、予防接種、滞在先の確保、留学中の中間試験、期末試験、その他イベント等)

| | | |
|----------|---------|------------|
| 留学開始年の前年 | 1月～3月 | |
| | 4月～7月 | |
| | 8月～9月 | |
| | 10月～12月 | 語学試験 |
| 留学開始年 | 1月～3月 | |
| | 4月～7月 | 出願・面接 |
| | 8月～9月 | 勉強 |
| | 10月～12月 | 寮の申請 ビザの申請 |
| 留学/帰国年 | 1月～3月 | ビザ取得 留学開始 |
| | 4月～7月 | 帰国 |
| | 8月～9月 | |
| | 10月～12月 | |

留学体験記

※ この留学先を選んだ理由、留学生生活全般について、また、これから留学を志す後輩学生へのアドバイスなど、自由に記入してください。

海外留学への漠然とした憧れや好奇心と元々韓国が好きだったことが重なり、韓国への留学が実現しました。ビザを取ったり、滞在先を確保したりととにかく自分から動かなければならない事ばかりで、何度も大変な思いをしました。しかし、準備が大変だった分、実際に現地に行ってからは大変なことよりも楽しいことの方が多かったと思います。数えきれないほど思い出がありますが、中でも最も印象深い3つについて記したいと思います。

(1)ドイツ出身のルームメイトとの生活

私が留学した梨花女子大学の寮は1人部屋と2人部屋に分けられます。私はすべての費用を自己負担していたため、安く済ませたいという理由から2人部屋を選択しました。ルームメイトの情報は事前に全く知らされず、入寮日に初めてわかるというシステムでした。私のルームメイトは3つ年上のドイツから来た方でした。彼女は全く韓国語が話せなかったため、寮では基本英語でコミュニケーションを取っていました。用意してきた手紙や日本のお菓子を渡し(英語で書いた手紙や抹茶のお菓子を持っていくことをおすすめします)、距離を縮めようと努力したところ、山登りに誘われました。2月、極寒のソウルで山を登ったことは一生忘れないと思います(最初はどんな誘いでものることが大事です)。学校が始まると、たまに外食したり夜遅くまで話したりとコミュニケーションをとるものの、お互いの生活に干渉しすぎない良い関係を築くことが出来ました。私は1人部屋にすればよかったと後悔することはなかったので、韓国語だけでなく英語も使いたいという方で、共同生活に抵抗がない場合は2人部屋もおススメです。

(2)Peace Buddy について

留学生は希望すれば Peace Buddy という制度の下、現地の学生からサポートを受けることが出来ます。ひとりの現地学生につき~7人ほどの留学生がおり、グループでランチをしたり交流を深めます。現地の学生と知り合うことが出来るものの、グループでの会話は英語で行われるので、多少の英語力がないと、ついていくのがやっとでした。韓国語を勉強したいこと、日本で勉強してきたことを話すと、担当の韓国留学生が親身になってご飯に誘ってくれたり、韓国語での会話練習を手伝ってくれたおかげで、後半は無理なく関わっていくことが出来ました。Peace Buddy を通じて、自分の英語力のなさを知り、帰国してからの勉強へのモチベーションになったので、これも大事な出会いだったなと思います。

(3)出会った友達

最後は、出会った友達についてです。本当に多くの出会いがありましたが、アメリカ出身の二人の友達と香港出身の友達について記します。最初に、アメリカ出身の友達二人とは、明治大学から同じ学校に留学した友人の紹介で出会いました。4人ではいるときは韓国語で会話をしていたため、この友人たちのおかげで実力を伸ばすことが出来たと思います。何より、本人たちが英語が母国語であるにもかかわらず、言語習得への意欲が高く、私も本当に刺激を受けました。多い時は週に一回ご飯に行ったり、4人そろって遠出する機会こそなかったものの、いろんな話をしました。次に、香港出身の友達とは前記した友達たちを含めた食事会で出会いました。この友達とも基本は韓国語で会話していましたが、時に英語も織り交ぜて会話することが多かったです。好きなアーティストで共通することが多く、カフェに行ったりフェスに参加したりとたくさん出かけました。会話を通じて、大学での専攻や香港の政治事情まで自分の知らなかった話を聞き、自分の視野や考え方が変わりました。留学生活において人間関係は最重要と断言していいほど大切なものだと思います。誘われたらどんなコミュニティにでも顔を出してみることをおすすめします。

長くなりましたが、振り返ってみると、ご飯を食べるたびに食後にサーティーワンへ行ったり、学園祭に行ってみたり、カラオケに行ったりと些細な日常がすべて楽しかったように感じます。もし留学を迷われている方がいたら、ぜひ挑戦してほしいです。